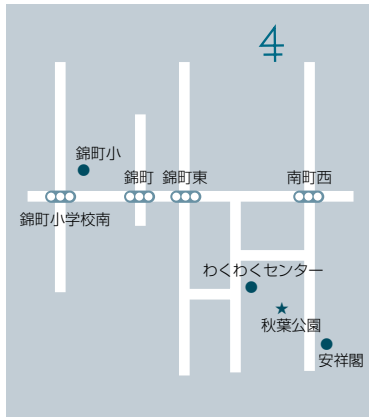


皆さんに「行きたい」
と思ってもらえるおまつりにしたい



今月の案内人

エコネットあんじょう自然部会
杉山サダユキさん

その39 秋葉公園

「みなさん、市内に森があるのはご存じですか？」



散歩道の木もれ日



バードウォッチング



ラジオ体操・参加自由



ガリバーと遊ぶ



展望台からの景色

安城市は、近隣市のように山がなく、標高差の少ないところ。そこで市民から「みんなが楽しめるような山や森を作ってほしい」という要望があり、人工的に作られたのが「秋葉公園」です。

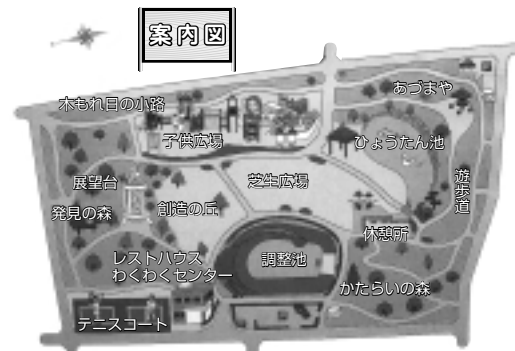
面積4万㎡、110種類2千本あまりの木があります。できてから27年が経つので、そのころ植えた木々はかなり大きくなっています。常緑樹・落葉樹・針葉樹・広葉樹と種類もさまざまで、1年中緑が絶えません。春は桜が咲き誇り、秋は紅葉し、たくさんのお花も咲き、四季の移り変わりが楽しめる公園です。市内にはたくさん公園がありますが、これだけ緑が多いのはここだけではないでしょう。

この緑を求めて、多くの野鳥たちが集まっています。1年を通して60種類ほどの野鳥が見られます。渡り鳥が羽を休める中継地でもあり、休みの日には、バードウォッチングを

楽しむ人たちが、カメラ片手に撮影をしています。珍しい鳥が発見されたときには、全国から50人ほど集まったとか。隠れた野鳥の観察スポットなんです。こんな場所が町の中にあるのは珍らしく、すごいことなんだと思います。

鳥のほかにも、亀やトカゲ、昆虫も含め、多くの小動物たちが生息し、安心して暮らしています。自分たちが子どものころに見た風景がいくつに残っていて、市民にとってすばらしい憩いの場所だと思います。

実は、私も数年前まではここがどういう公園か知りませんでした。緑あつてこの公園に足を踏み入れる機会があり「思っていた以上にすごいところじゃないか。安城にもこんなところが残されてるのだ」とびっくり。散歩道には木もれ日が差し、野鳥のさえずりが聞こえ、散歩に訪れる人々の心を癒やしてくれます。この貴重な森を守っていききたいです。



※秋葉公園観察ノートより
(同ノートは環境都市推進課で配布)

みなさんも一度「秋葉公園観察ノート」を持って、秋葉の森を探索してみてください。いろいろな発見があると思います。

※8月1日(水)に子ども環境自然講座「秋葉公園で木と友だちになろう(夏編)」を開催します。詳しくは21ページをご覧ください。



■発表の瞬間、どんな気持ちでしたか？
その瞬間が来るまでは「まさか、自

■コンテストに応募したきっかけは？
今まで、いつも「出たいなあ」と言っ
てはいましたが、それを実行に移す
ことはなかったんです。でも、わたし
が出演できるのは、学生時代最後の今
年がラストチャンス。そんなとき、小
さいころからお世話になっていた近所
の人の「今年こそは応募してみない？」
という一言がきっかけとなり、応募を
決めました。

■コンテストには地元、榎前町の皆さ
んが応援に来ていましたね
榎前町はとても温かい町。近所の人
と昔ながらのつきあいがあって、道端
で顔を合わせるとあいさつをする、そ
んな町なんです。今回のことも、みん
な自分の子どものことのように喜んで
くれました。コンテストのあったその
日のうちにパーティーまで開いてくれ
たんです。わたしがクイーンになれた
のも、町の人たちの支えがあったから
だと思っています。

■最後に一言お願いします
5人の笑顔で、皆さんに「行きたい」
と思ってもらえるまつりになるよう、
盛り上げていきます。ぜひ、おこしく
ださいね。

■ミステタのメンバーについては？
先日も喫茶店で「ミーティング」を
しました。5人で、恋愛の話から学校
の話まで、いろんな話をしているん
です。この5人は一年の期間が終わって
も、付き合いが続くような、いいメン
バー。これから、もっと5人の仲を深
めていきたいと思っています。

■七タまつりの思い出を
小さいときは、両親と一緒に来てい
ました。そのとき印象に残ったのは、
大きな飾り。中学生になってからは、
友だちと一緒にお店で買い物をして楽
しみました。それからしばらく来てい
なかったのですが、今回の七タは久しぶり
です。



まいこ
斉藤麻依子さん
(19歳・榎前町)

8月3日(金)～5日(日)に開催する安城七タ
まつりの、2007年ミスセタクイーン。

